2017年４月期
決算説明会資料

2017年6月13日

インスペック株式会社

（証券コード：6656）

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

目次

inspec Inc.

- 会社概要 …… 2
- 業績ハイライト …… 3
- 業績見通し …… 9
- 今後の経営戦略（インスペックの成長戦略）…… 10
- 外観検査装置事業 …… 12
- プリント基板製造装置事業 …… 18
- 医療関連機器事業 …… 22
- 中期経営計画 …… 26

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

インスペックの概要 （2017年4月30日現在）

inspec Inc.

商号	インスペック株式会社
本社	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷79-1
創業	1984年（昭和59年）1月
上場	2006年6月（東証マザーズ 証券コード：6656）
代表者	代表取締役社長　菅原　雅史
主な事業	電子回路基板（半導体パッケージ基板・FPC等）の外観検査装置及び製造装置の開発・製造・販売・サービス 医療関連機器の開発・製造・販売
連結子会社	2社
従業員	連結：67名　　個別：42名
資本金	537百万円
発行済株式数	2,713,600株 （単元株数：100株）
株主数	2,308名

インスペック 秋田県仙北市角館町

非連結子会社
Inspec TAIWAN
台湾桃園県

東京オフィス
東京都港区浜松町

連結子会社

First EIE SA
スイス・ジュネーブ
当社持株比率：51%

プリント基板用フォトプロッター
インクジェット プリンター
ダイレクトイメージング装置の
開発・製造・販売・保守サービス

連結子会社

クラーロ株式会社
青森県弘前市
当社持株比率：26.1%

医療用画像処理システム
「バーチャルスライドシス テム
（WSI）」の開発・製造・販売・
保守サービス

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

2017年4月期　業績ハイライト

inspec Inc.

- 連結：子会社伸び悩みあるものの、前年同期比大幅増
- 個別：受注堅調～売上高は前年同期比大幅増、利益も増大

■連結業績概要

単位：百万円

	2016年4月期	2017年4月期	前期比	増減率
売上高	1,628	2,159	531	32.6%
営業利益	△19	136	156	―
経常利益	△41	134	175	―
親会社株主に帰属する当期純利益	△25	106	131	―

■個別業績概要

単位：百万円

	2016年4月期	2017年4月期	前期比	増減率
売上高	1,068	1,507	438	41.1%
営業利益	55	174	118	211.0%
経常利益	40	171	130	318.6%
当期純利益	30	146	116	384.5%

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

セグメント別売上高

inspec Inc.

	2016年4月期 累計			増減率	2017年4月期 累計			増減率
	金額（百万円）	構成比（個別）	構成比（連結）		金額（百万円）	構成比（個別）	構成比（連結）	
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	1,068	100.0%	65.6%	△32.7%	1,507	100.0%	69.8%	41.1%
フラットベッド型検査装置	562	52.6%	34.5%	△50.8%	741	49.2%	34.3%	31.9%
ロールtoロール型検査装置	162	15.2%	10.0%	△16.8%	369	24.5%	17.1%	127.5%
インライン検査装置	78	7.3%	4.8%	23.5%	65	4.3%	3.0%	△17.0%
自動機、その他	266	24.9%	16.4%	14.0%	332	22.1%	15.4%	24.7%
精密基板製造装置関連事業	534	–	32.8%	–	606	–	28.1%	13.5%
デジタルパソロジー関連機器事業	25	–	1.5%	31.6%	45	–	2.1%	80.0%
連結売上高	1,628	–	100.0%	1.2%	2,159	–	100.0%	32.6%

（単位：百万円）

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

個別月次受注状況の推移(毎月開示)

inspec Inc.

(単位:百万円)

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

要約連結貸借対照表

inspec Inc.

資産の部

負債の部、純資産の部

	2016年4月期	2017年4月期
自己資本	610百万円	805百万円
自己資本比率	28.8%	32.3%

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

要約連結キャッシュ・フロー計算書

inspec Inc.

		2016年4月期（百万円）	2017年4月期（百万円）
期首現金及び現金同等物残高		287	340
営業活動によるキャッシュ・フロー	税引（税金等調整）前当期純利益	△35	139
	売上債権（増加△）	126	54
	たな卸資産（増加△）	△33	70
	仕入債務（減少△）	75	2
	その他	28	79
	計	162	346
投資活動によるキャッシュ・フロー	固定資産の取得	△75	△85
	関係会社株式の取得	—	—
	事業譲受による支出	—	△39
	短期貸付による純増減額	△78	△21
	その他	△1	5
	計	△155	△141
フリー・キャッシュフロー		6	205
財務活動によるキャッシュ・フロー	株式の発行	—	100
	非支配株主からの払込による収入	159	215
	短期借入金の純増減額	—	196
	長期借入金	459	—
	長期借入金返済	△564	△278
	その他	△2	0
	計	51	232
現金及び現金同等物に係る換算差額		△4	△3
現金及び現金同等物の増減額（減少△）		53	434
期末現金及び現金同等物残高		340	775

◆営業活動によるキャッシュ・フロー

- 営業活動の結果、346百万円の資金を獲得

◆投資活動によるキャッシュ・フロー

- 連結子会社による事業譲受、デモ機等の固定資産の取得により141百万円の資金を使用

◆財務活動によるキャッシュ・フロー

- 新株の発行、第三者割当増資等により232百万円の資金を獲得

➢現金及び現金同等物
434百万円の増加

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

研究開発費

inspec Inc.

	2016年4月期		2017年4月期		対前年増減率
	金額（百万円）	対売上比	金額（百万円）	対売上比	
研究開発費（連結）	77	4.7 %	101	4.7 %	32.0 %
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	73	6.9 %	92	6.1 %	25.7 %
精密基板製造装置関連事業	3	0.6 %	3	0.5 %	△4.5 %
デジタルパソロジー関連機器事業	0	0 %	6	13.0 %	－ %

◆半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業

ロールtoロール AOI用エンジン、照明開発、高速インラインテスト機等の開発 ： 販売促進に貢献

◆精密基板製造装置関連事業

大型のプロッターの開発 ： 大画面タッチパネル分野に進出

◆デジタルパソロジー関連機器事業

新製品UH-5Sの開発 ： 2017年9月リリース予定

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

2018年4月期 業績見通し　セグメント別売上高

inspec Inc.

	2017年4月期		2018年4月期		対前年増減率
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	
売上高	2,159	100.0 %	2,650	100.0 %	22.7 %
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	1,507	69.8 %	1,800	67.9 %	19.4 %
精密基板製造装置関連事業	606	28.1 %	750	28.3 %	23.8 %
デジタルパソロジー関連機器事業	45	2.1 %	100	3.8 %	122.2 %

◆半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業

メーカー各社の生産量拡大、回路基板の微細化の進化に伴い堅調な受注状況継続。

◆精密基板製造装置関連事業

大型のプロッターを開発し大画面タッチパネル分野に進出。従来装置と併せ前期比増を見込む。

◆デジタルパソロジー関連機器事業

新製品の投入を加速し、市場立ち上がりの先手を取って売上基盤の確立を目指す。

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

インスペックの成長戦略

戦略1　中期戦略　　a：FPC＆COF向けロールtoロール検査装置
b：インライン検査システム
c：超精密基板向け検査装置

戦略2　中長期戦略　・AIを活用した新たな検査システム
・医療・バイオ分野の新製品開発

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

グループ経営で世界へチャレンジ！

インスペック
Japan

精密基板の外観検査

メインターゲット
アジア

技術開発
製品開発

クロスセル
製品開発

クラーロ
Japan

Whole Slide Imaging

メインターゲット
米国・欧州・アジア

AI

First EIE
Swiss

基板の製造装置

メインターゲット
ヨーロッパ・アジア

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

外観検査装置事業

インスペック株式会社

精密基板AVI BF1100

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

進化を続けるデバイスに、最適な検査装置を提供

inspec Inc.

製品の進化	検査対象製品	検査装置
自動車の進化 20**年～	リードフレーム	リードフレーム検査装置
テレビの進化 2001年～	TABテープ	TABテープ検査装置
コンピューターの進化 2007年～	精密基板 CPU用超精密基板	基板AOI(※) 基板AVI(※)
ここに注目！	FPC(フレキシブル基板)	RtoR AOI FPC向けAVI

※ AOI:パターン検査装置 AVI:最終外観検査装置

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

スマホ、ウェアラブルの増加が、FPC需要を後押し

inspec Inc.

世界のハンドセット市場規模推移

出所：矢野経済研究所

ウェアラブルデバイス世界市場の推移と予測

出所：矢野経済研究所

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

主要3分野の製品戦略

inspec Inc.

1、ロールtoロール型検査装置(FPC分野、COF分野)

・モバイル機器、ウエアラブル機器など高成長

・ロールtoロール高精度パターン検査で差別化

・TABテープ時代からの圧倒的なノウハウの蓄積

ロールtoロール型検査装置

2、インライン検査装置

・IoTの拡大でマイクロデバイスが急増

・製品の高度化→インライン検査のニーズが拡大

・ロールtoロールの連続検査技術によりインライン検査が可能

インライン検査装置

3、精密基板検査装置(フラットベッド型)

・クラウドサーバーの拡大で高性能CPUが増加

・AIの進化でディープラーニング用デバイスが急拡大

・最先端のファインパターン検査(AOI)に唯一対応

半導体PKG基板

精密基板検査装置

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

主要製品のご紹介

inspec Inc.

超精密AVI

CPU等半導体向け

ロールtoロールAVI

液晶テレビ
有機ELテレビ
PCモニター

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

AI取り組み ：AI(人工知能)の活用で出来ること

inspec Inc.

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

プリント基板製造装置事業

First EIE SA

レーザーフォトプロッター RP700

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

First EIE社 製品ラインナップ

inspec Inc.

プリント基板の製造工程

市場規模(世界)

フォトプロッター　：20億円～40億円
ダイレクトイメージング　:200億円～300億円
インクジェットプリンター：10億円～20億円

フォトプロッター
（基板のフィルム原版を印刷する装置）

ダイレクトイメージング
（基板にパターンを直接描画する装置）

インクジェットプリンター
（基板上に回路記号等を印刷する装置）

RP500

RP750

EDI500

CP562

主力製品：世界市場で750台以上の実績

新製品：目標ニッチトップ

多品種生産対応機

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

First　EIE社とのシナジーによる成長戦略

inspec Inc.

1st Step　クロスセルにより両社の対象市場を大きく拡大

→M&Aによるアップセル効果

2nd Step　技術コラボによる新製品

レーザー技術（F-EIE）と画像処理技術（ｲﾝｽﾍﾟｯｸ）

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

First　EIE社のグローバル拠点を活用

inspec Inc.

First EIE社のグローバル販売拠点の活用によるシナジー創出を行う

欧州10拠点

アジア8拠点

Swiss本社

北米2拠点

その他

・南米1拠点

・南アフリカ1拠点

世界各地に

計 22拠点

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

医療関連機器事業

クラーロ株式会社

Whole Slide Imaging　Fino-2L

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

顕微鏡観察からWSI(Whole Slide Imaging)での観察へ

inspec Inc.

従来の顕微鏡による検査

顕微鏡で写した癌細胞

・病理医が不足
・一人しか観察できない。
・画像を保存出来ない。

ＷＳＩで撮像

デジタル画像化

◎遠隔地で検査できる。
◎複数の病理医が同時に検査できる。
◎診断した組織の画像を保存出来る。

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

ＷＳＩの威力

inspec Inc.

顕微鏡診断の限界

顕微鏡で見える範囲は
僅か直径0.5mm程度
全体を確認するために
膨大な時間を要する。

直径0. 5ミリ

10ミリ四方

ＷＳＩの貢献

○ ＷＳＩは、検体全体のデジタル画像が
顕微鏡と同じ倍率でメモリーに保存される。
○ 拡大・縮小が自在に観察可能。

インターネット回線で遠隔検査が可能

病理医不在の病院
過疎地の病院

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

医療の世界にもＩｏＴを

inspec Inc.

- 医療の地域格差の解消に向けて、遠隔画像診断により今以上にデジタルを活用
- 患者様のQOLの向上に向けて、セカンドオピニンなど今以上にデジタルを活用
- 病理医不足の解消に向けて、教育・育成の現場で今以上にデジタルを活用

遠隔病理診断
遠隔術中迅速診断

VPN回線

WSI

WSI

WSI

病理医不在

病理医不在

病理医不在

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

中期経営計画（第30期～第32期）

inspec Inc.

（単位：百万円）

	第28期（2016/4）		第29期（2017/4）		第30期（2018/4）		第31期（2019/4）		第32期（2020/4）	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	1,628	100%	2,159	100%	2,650	100%	3,236	100%	4,000	100%
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	1,068	66%	1,507	70%	1,800	68%	2,100	65%	2,700	68%
フラットベッド型検査装置	562	35%	741	34%	1,000	38%	1,100	34%	1,150	29%
ロールtoロール型検査装置	162	10%	369	17%	620	23%	790	24%	1,230	31%
インライン検査装置	78	5%	65	3%	70	3%	100	3%	200	5%
自動機、その他	266	16%	332	15%	110	4%	110	3%	120	3%
精密基板製造装置関連事業（F-EIE）	534	33%	606	28%	750	28%	936	29%	1,000	25%
デジタルパソロジー関連機器事業（クラーロ）	25	2%	45	2%	100	4%	200	6%	300	8%
営業利益	△ 19	-1%	136	6%	150	6%	400	12%	650	16%
経常利益	△ 41	-3%	134	6%	131	5%	350	11%	600	15%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 25	-2%	106	5%	142	5%	290	9%	420	11%

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

ご清聴ありがとうございました。

インスペックグループは、世界におけるオンリーワン企業を目指しチャレンジを続けてまいります。

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved

本資料のお取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

Copyright 2017 inspec All Rights Reserved